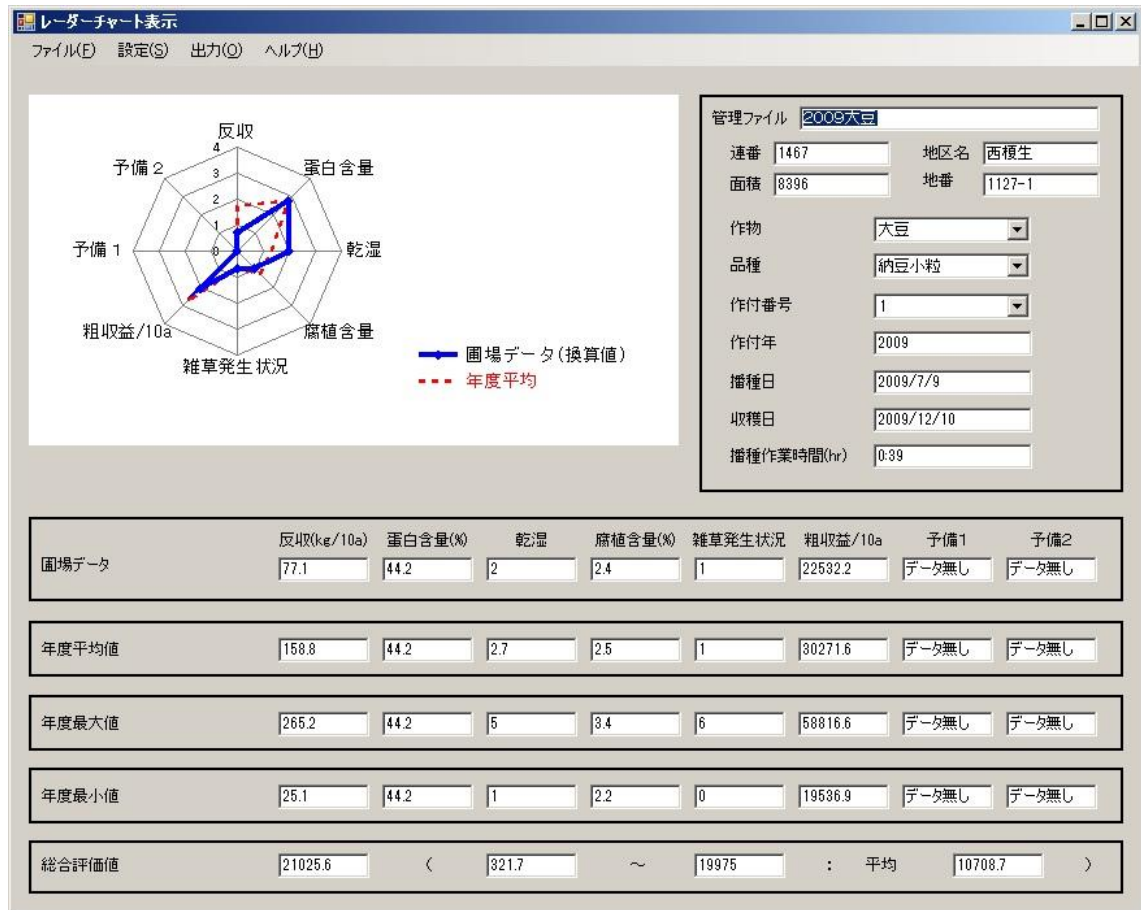


圃場情報表示プログラム マニュアル



中央農業総合研究センター
情報利用研究領域

1	本プログラムの提供にあたっての免責事項等.....	3
2	使用方法.....	3
2.1	管理ファイル名選択.....	3
2.2	レーダーチャート表示.....	5
2.3	レーダーチャート設定.....	6
2.4	デフォルト値の設定.....	7
2.5	Excel 出力.....	8
3	メインメニュー.....	9
3.1	「ファイル」メニュー.....	9
3.2	「設定」メニュー.....	9
3.3	「出力」メニュー.....	9
3.4	「ヘルプ」メニュー.....	9
4	その他の機能.....	10
4.1	予備項目の編集について.....	10
4.2	予備項目の編集について.....	10
4.3	フォルダ構成について.....	12
4.4	設定ファイルの保存先について.....	12
4.5	動作環境.....	12

1 プログラムの提供にあたっての免責事項等

・独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構（以下農研機構と記します）は、本ソフトウェアに関して不具合やエラーや障害が生じないことを一切保証いたしません。

・農研機構は、本ソフトウェア及び本ソフトウェアのダウンロードに起因してご使用者に直接または間接的損害が生じても、いかなる責任をも負わず、一切の損害賠償を行わないものとします。

・農研機構は、本ソフトウェアに不具合、不備等があっても、程度の如何にかかわらず訂正、修補する義務を負わないものとします。

著作権その他の権利

・本ソフトウェアの著作権その他一切の権利は、農研機構に帰属します。

・本ソフトウェアを無断で複製、転載、改変などに類する行為と無断で解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング等）することを禁止します。

・本ソフトウェアを販売、貸与、再使用許諾、営業使用することなどはいずれもできないものとします。

・事前の告知なしに本ソフトウェアの変更、又は配布を中止する場合があります。また、このページは予告無く加筆修正されることがあります。

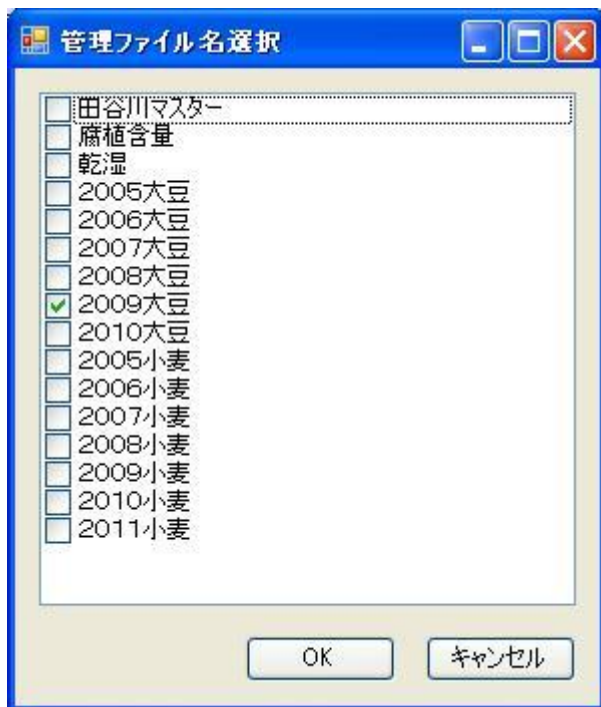
・本ソフトウェアを用いて得られた計算結果を使用して、学術雑誌等への論文等発表する場合は、論文等の中に「作業計画・管理支援システム圃場情報表示プログラム」を使用したことの記載をお願いします。

2 使用方法

2.1 管理ファイル名選択

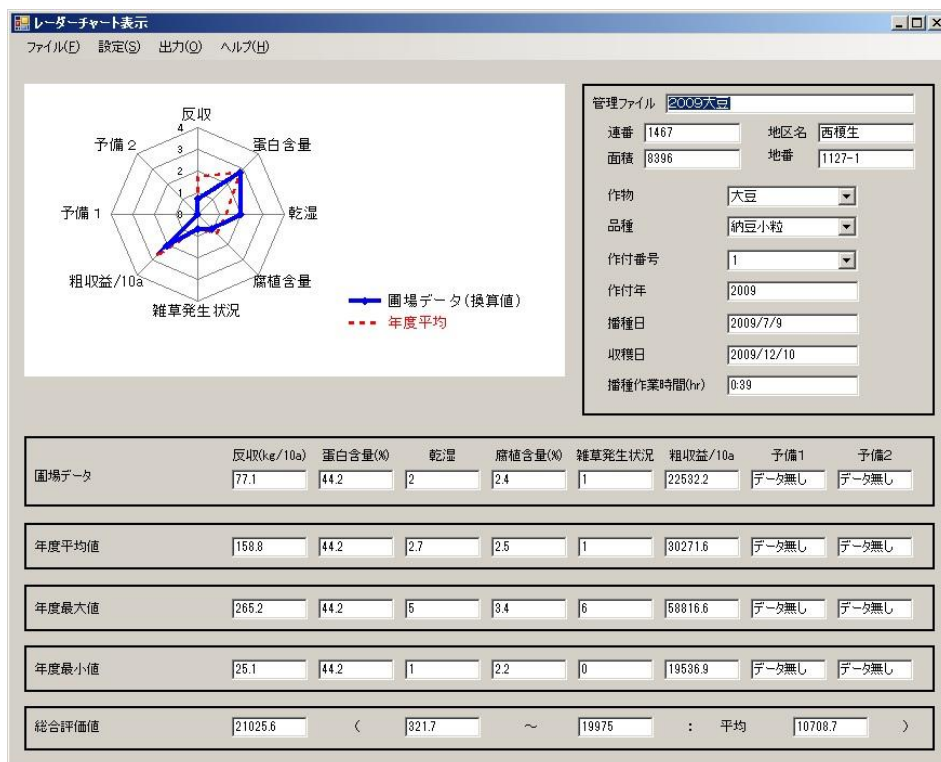
プログラムを起動すると、「管理ファイル名選択」画面が起動しますので、対象の管理ファイルを選択します。

デフォルトで現在開かれている管理ファイル名が選択されています。



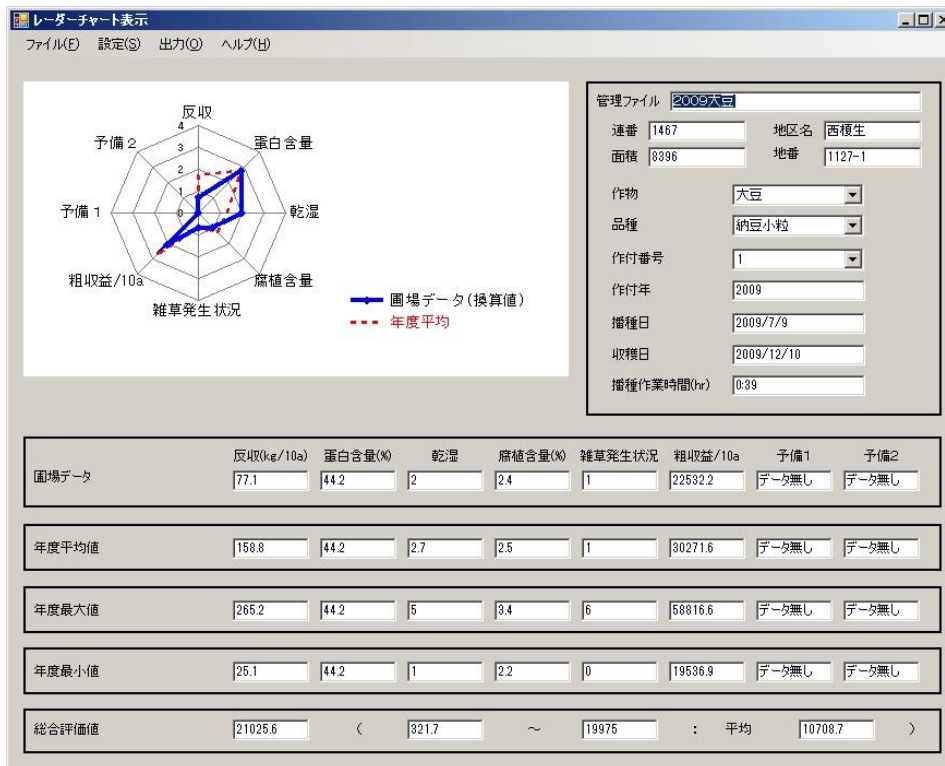
複数ファイルの選択が可能です。

選択後、「OK」ボタンをクリックすると、指定した管理ファイルのレーダーチャート表示画面が起「」動します。



2.2 レーダーチャート表示

レーダーチャート表示画面では、作物、品種および作付番号の変更が可能です。



2.3 レーダーチャート設定

メニュー「設定」で、現在選択されているレーダーチャート図の設定を行います。



軸の表示	最小値	最大値	総合評価値用係数
<input checked="" type="checkbox"/> 収量	20	340	5046
<input checked="" type="checkbox"/> 蛋白含量	38	47	0
<input checked="" type="checkbox"/> 乾湿	1	5	1503
<input checked="" type="checkbox"/> 腐植含量	2.1	3.4	0
<input checked="" type="checkbox"/> 雑草発生状況	0	6	0
<input checked="" type="checkbox"/> 粗収益/10a	0	44000	0
<input checked="" type="checkbox"/> 予備1	38	47	0
<input checked="" type="checkbox"/> 予備2	38	47	0
		総合評価値用切片	14418

目盛数

レーダーチャート図の軸の表示／非表示の切り替え、最小値、最大値、目盛り数および総合評価値用係数および切片を設定することができます。

「デフォルト値に戻す」ボタンをクリックすると、各設定値をデフォルト値に戻すことができます。

「デフォルト値の確認・設定」ボタンをクリックすると、デフォルト値の確認・設定が可能です。

「OK」ボタンをクリックすると、入力された設定が現在選択されているチャート図に対して反映されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定値を反映させずに、レーダーチャート画面へ戻ります。

2.4 デフォルト値の設定

レーダーチャート画面より「デフォルト値の設定・確認」をクリックすると、「デフォルト値の設定」画面が表示されます。

	最小	最大	総合評価値用係数
反収	20	340	5046
蛋白含量	38	47	0
乾湿	1	5	1503
腐植含量	2.1	3.4	0
雑草発生状況	0	6	0
粗収益/10a	0	44000	0
予備1	38	47	0
予備2	38	47	0
目盛数	5		
		総合評価値用切片	14418

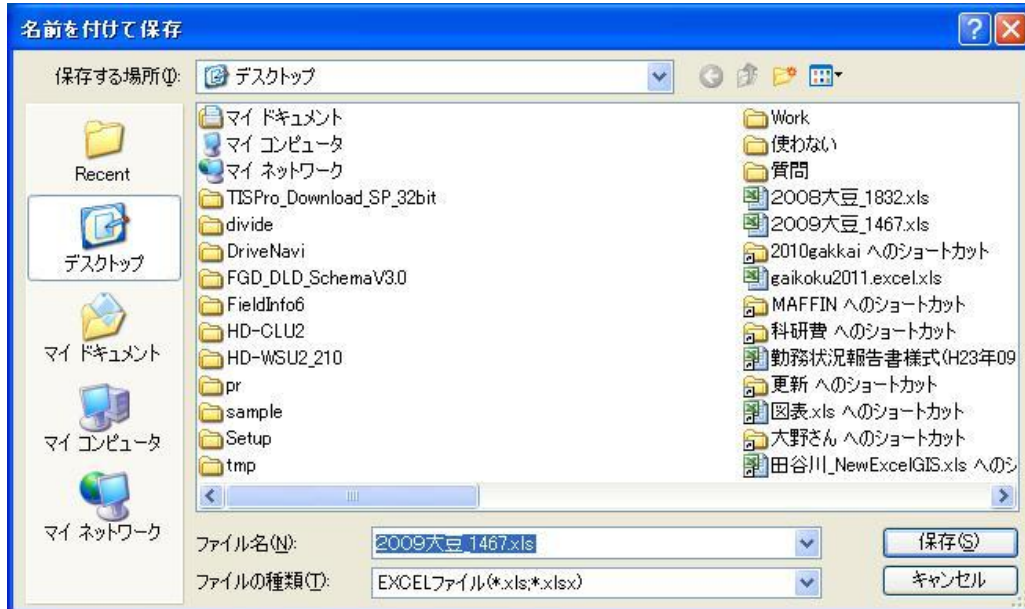
OK キャンセル

「OK」ボタンをクリックすると、デフォルト値の設定が行われます。

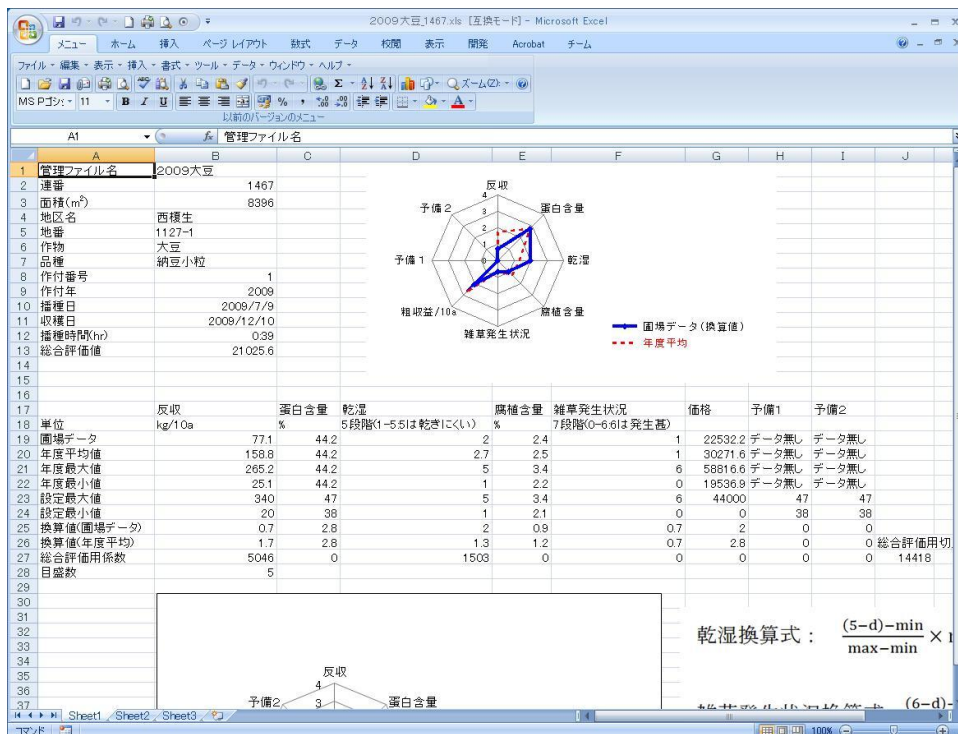
「キャンセル」ボタンをクリックすると、内容を反映せずにレーダーチャート設定画面に戻ります。

2.5 Excel 出力

メニュー「Excel 出力」で、現在選択されているレーダーチャート図の Excel ファイル出力を行います。



指定した保存先にファイルが作成され、Excel が起動します。

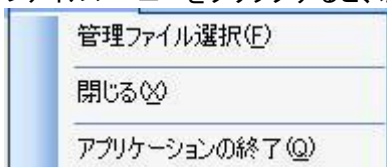


3 メインメニュー

3.1 「ファイル」メニュー

ファイル(F)

ファイルメニューをクリックすると、以下のサブメニューが表示されます。



「管理ファイル選択」-管理ファイル選択画面を表示します。

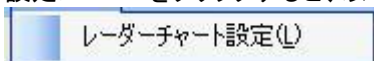
「閉じる」-現在開いている画面を閉じます。

「アプリケーションの終了」-アプリケーションを終了します。

3.2 「設定」メニュー

設定(S)

設定メニューをクリックすると、以下のサブメニューが表示されます。

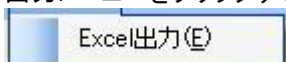


「レーダーチャート設定」-レーダーチャート設定画面を表示します。

3.3 「出力」メニュー

出力(O)

出力メニューをクリックすると、以下のサブメニューが表示されます。

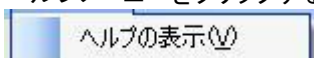


「Excel 出力」-Excel への出力を行います。

3.4 「ヘルプ」メニュー

ヘルプ(H)

ヘルプメニューをクリックすると、以下のサブメニューが表示されます。



「ヘルプの表示」-ヘルプの表示を行います。

4 その他の機能

4.1 総合評価値について

総合評価値は、

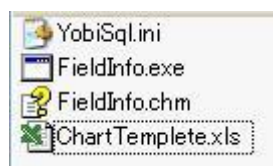
総合評価値用係数(反収) * 換算値(反収) +
総合評価値用係数(蛋白含量) * 換算値(蛋白含量) +
総合評価値用係数(乾湿) * 換算値(乾湿) +
総合評価値用係数(腐植含量) * 換算値(腐植含量) +
総合評価値用係数(雑草発生状況) * 換算値(雑草発生状況) +
総合評価値用係数(価格) * 換算値(価格) +
総合評価値用係数(予備1) * 換算値(予備1) +
総合評価値用係数(予備2) * 換算値(予備2) +
切片

の式で設定した係数および切片の値から計算されます。複数の情報を総合的に評価する際に数値を設定して使用してください。

4.2 予備項目の編集について

反収(kg/10a)	蛋白含量(%)	乾湿	腐植含量(%)	雑草発生状況	粗収益/10a	予備1	予備2
77.1	44.2	2	2.4	1	22532.2	データ無し	データ無し
158.8	44.2	2.7	2.5	1	30271.6	データ無し	データ無し
265.2	44.2	5	3.4	6	58816.6	データ無し	データ無し
25.1	44.2	1	2.2	0	19536.9	データ無し	データ無し

項目「反収」、「蛋白含量」、「乾湿」、「腐食含量」、「雑草発生状況」、「予備1」、「予備2」は本プログラム「FieldInfo.exe」と同じフォルダにある「YobiSql.ini」ファイルの内容を修正することで自由に項目名、取得するデータの設定を行うことが可能です。



「YobiSql.ini」は INI ファイル形式で記載されています。編集内容は以下のようになります。

※編集時、デフォルトに戻したい場合には、YobiSql.ini を削除すれば、次回起動時にデフォルト値が記載された YobiSql.ini が自動作成されます。

```

C:\yml\#28_中気象実研センター*ソース*V6201\DF\fieldinfo_20110901_修正対応*bin\Debug\YobiSql.ini - sakura 1.6.3.D
1  1  2  3  4  5  6  7  8  9  10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56
2  1: 反収の項目名とSQL文を記載します。
3  2: NAME 表示する項目名
4  3: UNIT 表示する単位
5  4: SQL 圃場データ□SQL文
6  5: AVG 圃場データ□平均値□SQL文
7  6: MAX 圃場データ□最大値□SQL文
8  7: MIN 圃場データ□最小値□SQL文
9  8:
10 9: 変数には以下の定数を使用してください。
11 10: 管理ファイルコード %BLOCKID%
12 11: 圃場連番 □□□□ %ROW%
13 12: 作物コード□□□□ %SAKUID%
14 13: 品種コード□□□□ %HINID%
15 14: 作付番号□□□□ %SAKUTURENO%
16 15:
17 16: EXPの変数には必ずValueを用いてください。
18 17: 数式には四則演算(+*//)のみ使用できます。
19 18:
20 19: -----
21 20 [TANSYU]
22 21 NAME = 反収
23 22 UNIT = t/kg/10a
24 23 EXP =
25 24 SQL = select tansyu from T_SAKU_DY where BLOCKID = %BLOCKID% and ROW = %ROW% and d2 in (%SAKUTURENO%) and saku_name = %SAKUID% and hinsyu = %HINID%
26 25 AVG = select AVG(tansyu) from T_SAKU_DY where BLOCKID = %BLOCKID% and d2 in (%SAKUTURENO%) and saku_name = %SAKUID% and hinsyu = %HINID%
27 26 MAX = select MAX(tansyu) from T_SAKU_DY where BLOCKID = %BLOCKID% and d2 in (%SAKUTURENO%) and saku_name = %SAKUID% and hinsyu = %HINID%
28 27 MIN = select MIN(tansyu) from T_SAKU_DY where BLOCKID = %BLOCKID% and d2 in (%SAKUTURENO%) and saku_name = %SAKUID% and hinsyu = %HINID%
29 28:
30 29: 蛋白質の項目名とSQL文を記載します。
31 30: NAME 表示する項目名
32 31: UNIT 表示する単位
33 32: SQL 圃場データ□SQL文
34 33: AVG 圃場データ□平均値□SQL文
35 34: MAX 圃場データ□最大値□SQL文
36 35: MIN 圃場データ□最小値□SQL文
37 36:
38 37: 変数には以下の定数を使用してください。
39 38: 管理ファイルコード %BLOCKID%
40 39: 圃場連番 □□□□ %ROW%
41 40: 作物コード□□□□ %SAKUID%
42 41: 品種コード□□□□ %HINID%
43 42: 作付番号□□□□ %SAKUTURENO%
44 43:
45 44: EXPの変数には必ずValueを用いてください。
46 45: 数式には四則演算(+*//)のみ使用できます。
47 46: -----
48 47 [TANPAKU]
49 48 NAME = 蛋白質
50 49 UNIT = %
51 50 EXP =
52 51 SQL = select toukyu from T_HIN_DY where BLOCKID = %BLOCKID% and ROW = %ROW% and CropCode = %SAKUID% and CropNo in (%SAKUTURENO%)
53 52 AVG = select AVG(toukyu) from T_HIN_DY where BLOCKID = %BLOCKID% and CropCode = %SAKUID% and CropNo in (%SAKUTURENO%)
54 53 MAX = select MAX(toukyu) from T_HIN_DY where BLOCKID = %BLOCKID% and CropCode = %SAKUID% and CropNo in (%SAKUTURENO%)
55 54 MIN = select MIN(toukyu) from T_HIN_DY where BLOCKID = %BLOCKID% and CropCode = %SAKUID% and CropNo in (%SAKUTURENO%)
56 55:
57 56:

```

【セクション名】

- [TANSYU] - 項目「反収」の変更を行います。
- [TANPAKU] - 項目「蛋白質」の変更を行います。
- [KANSITU] - 項目「乾湿」の変更を行います。
- [FUSYOKU] - 項目「腐食含量」の変更を行います。
- [ZASSOU] - 項目「雑草発生状況」の変更を行います。
- [YOBI1] - 項目「予備1」の変更を行います。
- [YOBI2] - 項目「予備2」の変更を行います。

【パラメータ名】

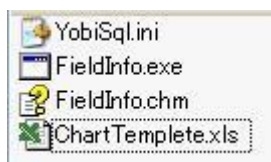
- NAME = 表示したい項目名を記載します。
- UNIT = 表示したい単位を記載します。
- EXP = レーダーチャートを表示する際に圃場データを換算したい場合、ここに数式を入力します。
(※1)
- SQL = 圃場データに表示するデータを取得する SQL 文を記載します。(※2)
- AVG = 年度平均値に表示するデータを取得する SQL 文を記載します。(※2)
- MAX = 年度最大値に表示するデータを取得する SQL 文を記載します。(※2)
- MIN = 年度最小値に表示するデータを取得する SQL 文を記載します。(※2)

※1・・・数式には四則演算(+*//)のみ使用できます。
EXP の変数には必ず Value を用いてください。(例 5 - Value)

※2・・・SQL文の変数には以下の定数が使用できます。
管理ファイルコード %BLOCKID%
圃場連番 %ROW%

作物コード	%SAKUID%
品種コード	%HINID%
作付番号	%SAKUTUKENO%

4.3 フォルダ構成について



圃場情報表示プログラムは、以下4つのファイルから構成されています。プログラム実行時は、この4つのファイルを必ず同一フォルダに置いてください。

「FieldInfo.exe」・・・圃場情報表示プログラム本体です。

「YobiSql.ini」・・・圃場データ「予備1」、「予備2」の項目、SQL文を設定するファイルです。

「FieldInfo.chm」・・・ヘルプファイルです。

「CharTemplate.xls」・・・エクセル出力時のテンプレートファイルです。

4.4 設定ファイルの保存先について

レーダーチャート設定値、デフォルト値は以下のフォルダにXML形式で保存されます。

「レーダーチャート設定値」

C:\Documents and Settings\%(ユーザ名)\Application Data\FieldInfo

「レーダーチャート設定値 デフォルト値」

C:\Documents and Settings\%(ユーザ名)\Application Data\FieldInfo\Default

4.5 動作環境

本プログラムは Microsoft Visual Studio 2010 Professional にて開発しています。

プログラムの動作には.NET Framework 2.0 が必要です。